

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-1【土木工事共通】

1/3  
検査職員

工事名:

考査項目	細目	a	b	c	d	e				
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備	施工管理が不備				
		<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>評価</td> <td colspan="3">                     評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。                      契約書18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行い、監督職員の確認を受けて施工を行っている。                      施工計画書と現場施工方法が一致している。                      施工計画書と現場施工体制等が一致している。                      工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。                      品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。                      見本又は工事記録写真等の整理に工夫がみられる。                      立会確認等の依頼が適切な時期に行われている。                      工事記録の整備が適時、的確になされている。                      建設廃棄物の処理及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。                      建設業退職金共済制度の証紙が適切に配布され管理されている。                      作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。                      計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。                      施工体制台帳、施工体系図が整備されている。                      施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。                      工事の関係書類及び資料整理がよい。                      社内の管理基準等が作成され管理されている。                      完成検査等において、検査員に対し施工内容に関する説明等が適切に行われた。                      その他理由:                 </td> <td>                     該当                      該当する場合は「1」を入力する。                      設計図書と適合しない箇所があり、文書により補修指示を行った。                      契約図書に基づく施工上の義務につき、文書により指示を行った。                       上記1項目該当・・・d                      上記2項目該当・・・e                 </td> </tr> </table>	対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 契約書18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行い、監督職員の確認を受けて施工を行っている。 施工計画書と現場施工方法が一致している。 施工計画書と現場施工体制等が一致している。 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。 見本又は工事記録写真等の整理に工夫がみられる。 立会確認等の依頼が適切な時期に行われている。 工事記録の整備が適時、的確になされている。 建設廃棄物の処理及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。 建設業退職金共済制度の証紙が適切に配布され管理されている。 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 工事の関係書類及び資料整理がよい。 社内の管理基準等が作成され管理されている。 完成検査等において、検査員に対し施工内容に関する説明等が適切に行われた。 その他理由:			該当 該当する場合は「1」を入力する。 設計図書と適合しない箇所があり、文書により補修指示を行った。 契約図書に基づく施工上の義務につき、文書により指示を行った。  上記1項目該当・・・d 上記2項目該当・・・e		
対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 契約書18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行い、監督職員の確認を受けて施工を行っている。 施工計画書と現場施工方法が一致している。 施工計画書と現場施工体制等が一致している。 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。 見本又は工事記録写真等の整理に工夫がみられる。 立会確認等の依頼が適切な時期に行われている。 工事記録の整備が適時、的確になされている。 建設廃棄物の処理及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。 建設業退職金共済制度の証紙が適切に配布され管理されている。 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 工事の関係書類及び資料整理がよい。 社内の管理基準等が作成され管理されている。 完成検査等において、検査員に対し施工内容に関する説明等が適切に行われた。 その他理由:			該当 該当する場合は「1」を入力する。 設計図書と適合しない箇所があり、文書により補修指示を行った。 契約図書に基づく施工上の義務につき、文書により指示を行った。  上記1項目該当・・・d 上記2項目該当・・・e					
計	0 0	#DIV/0!	<table border="1"> <tr> <td>                     該当項目が90%以上……………a                      該当項目が80%以上90%未満…b                      該当項目が60%以上80%未満…c                      該当項目が60%未満……………d                 </td> <td>                     ① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。                 </td> </tr> </table>				該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d	① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		
該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d	① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。									

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-2-1【土木工事(土木工事)】

2-1/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e						
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	出来形管理が適切		出来形管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		出来形管理がやや不備		出来形管理が不備		
		該 当	<p><b>該当する場合は「1」を入力する。</b></p> <p>出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の評価対象項目の4項目以上が該当する。</p>	該 当	<p><b>該当する場合は「1」を入力する。</b></p> <p>出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の評価対象項目の2項目以上が該当する。</p>	該 当	<p><b>該当する場合は「1」を入力する。</b></p> <p>出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足しているが、a及びbに該当しない。</p>	該 当	<p><b>該当する場合は「1」を入力する。</b></p> <p>出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。</p>			
		評 価	<p><b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b></p> <p>出来形管理図又は出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。 その他 理由:</p>	該 当	<p><b>該当する場合は「1」を入力する。</b></p> <p>文書で改善指示を行った。</p>				該 当	<p><b>該当する場合は「1」を入力する。</b></p> <p>契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。</p>		
計 0		上記該当・・・d		上記該当・・・e								
<p>① 出来形とは、設計図書に示された工事事務物の形状寸法である。 ② 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」等の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。</p>												

**【土木】工事成績採点の審査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-2-2【土木工事(機械設備工事・電気設備工事等)】

2-2/3

工事名:

検査職員

審査項目	細目	a	b	c	d	e					
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	出来形管理が適切		出来形管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		出来形管理がやや不備		出来形管理が不備	
		対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。						該当	該当
				出来形管理図又は出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。							
				出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。							
				自社の管理基準を設定し、適切に管理している。							
				自社の工事写真管理基準を設定して適切に管理し、管理項目を満足している。							
				製品の形状、寸法の実測値が、設計値(設計図書)に適合している。							
				製品の性能、機能が設計値(設計図書)に適合している。							
				その他「理由:」							
			計	0	0	#DIV/0!					
		該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...b 該当項目が60%以上80%未満...c 該当項目が60%未満.....d						① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。			
					上記該当...d		上記該当...e				

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-1【土木工事(コンクリート構造物工事)】

3-1/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつき判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	品質管理が適切	品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備
		該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。  上記該当・・・c	該当 該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 鉄筋の引っ張り強度、曲げ強度が試験値で確認できる。 コンクリート打設時までの鉄筋の保管管理が適正であると確認できる。 鉄筋の組立、加工が適正であることが確認できる。 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、w/c、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 コンクリートの打継目処理を適切に行っている。 検査時に強度が確認できない箇所については、シュミットハンマー又は現場養生供試体により、強度の確認を行っている。				
	計	0	0	#DIV/0!		
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・・・・c				
		① 評価対象項目が2項目以下の場合c評価とする。				
	III. 出来ばえ	a	b	c	d	e
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い	
		評価項目の場合は「1」を入力する。 コンクリート構造物の肌が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。(面取り忘れがない等) クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い。		該当項目が5項目以上・・・・a 該当項目が4項目・・・・・・b 該当項目が3項目・・・・・・c 該当項目が2項目以下・・・・d		
	計	0				

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-2【土木工事(盛土、築堤等工事)】

3-2/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e						
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備						
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。			
		対象	評価	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 段切り等が施工前に適切に行われている。 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 締固めを適切な条件で施工している。 筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っている。 土羽土の土質が適正である。 CBR試験等を行っている。 法面に有害なクラックや損傷部がない。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e		
		計	0	0	#DIV/0!											
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満……………b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。											
	<b>III. 出来ばえ</b>	a		b		c		d		e						
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い								
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 仕上げが良い。 通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけ等が良い。 全体的な美観が良い。													
		計	0				該当項目が4項目以上……………a 該当項目が3項目……………b 該当項目が2項目……………c 該当項目が1項目以下……………d									

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-3【土木工事(切土工事)】

3-3/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e				
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備				
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。						
		該当	<b>品質管理が適切</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>品質管理がほぼ適切</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。						
		対象	評価	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 段切り等が施工前に適切に行われている。 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 締固めを適切な条件で施工している。 筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っている。 土羽土の土質が適正である。 CBR試験等を行っている。 法面に有害なクラックや損傷部がない。				該当	<b>品質管理がやや不備</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。					
		計	0	0	#DIV/0!		該当	<b>品質管理が不備</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。						
				ばらつきが少なく、該当項目が80%以上.....a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満...b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満.....c					① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
				a		b		c		d		e		
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い						
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 規定された勾配が確保されている。 法面の浮石除去等、表面が適切に施工されている。 法面勾配の変化部には干渉部を設け、適切に施工されている。 施工面の木根等が確実に処理されている。 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 関係構造物等との取り合わせが適切に行われている。 残土等は適切に処理されている。											
		計	0											

【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)

別紙4-3-4【土木工事(護岸、根固め、水制工等工事)】

3-4/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e											
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照	品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備							
		該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]			該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。			該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。			該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。		
		対象	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 施工基面が平滑に仕上げられている。 護岸工の端部や曲線部の処理、強度、水密性が適切である。 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 裏込材、胴込めコンクリートの充填又は締固め工が十分で空隙が生じていない。 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結又はかみ合わせが適切である。 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等で、材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがない。			該当	該当する場合は「1」を入力する。 クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。  上記該当・・・c			該当	該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d			該当	該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e		
		計	0	0	#DIV/0!												
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・・・・c			① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。											
	Ⅲ. 出来ばえ	a		b		c		d		e							
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない				仕上げが悪く、美観が悪い							
		評価	評価項目の場合は「1」を入力する。 通りが良い。 材料のかみ合わせが良い。 天端、端部の仕上げが良い。 既成構造物とのすりつけが良い。			該当項目が3項目以上・・・・a 該当項目が2項目・・・・・・b 該当項目が1項目・・・・・・c 該当項目なし・・・・・・d											
		計	0														

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-5【土木工事(鋼橋工事)】

3-5/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e			
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備			
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	該当する場合は「1」を入力する。				該当	該当する場合は「1」を入力する。					
			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。					
		対象	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。				該当	該当する場合は「1」を入力する。					
			<工場製作関係> 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む。)で確認されている。 溶接作業にあたり、有資格者が作業を行っている。 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む。) 素地調整の場合、第一種クレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していると確認できる。 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。					文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d					
			<架設関係> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 支承の据付で、コンクリート面のチップング及びモルタル付着が確認でき、仕上面に水切勾配がついている。					契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e					
		計	0	0	#DIV/0!								
				ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満…b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c					① 評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。				
				a		b		c		d		e	
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い			
		(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	評価	評価項目の場合は「1」を入力する。									
	表面に補修箇所がない。				該当項目が4項目以上……………a								
	部材表面に傷、錆がない。				該当項目が3項目……………b								
	溶接に均一性がある。				該当項目が2項目……………c								
	塗装に均一性がある。				該当項目が1項目以下……………d								
計	0												



**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-6【土木工事(舗装工事)】

3-6/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e						
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備						
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつき判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	該当する場合は「1」を入力する。				該当	該当する場合は「1」を入力する。								
			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。								
		対象	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。				該当	該当する場合は「1」を入力する。								
		評価	≪路床、路盤工関係≫ 施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。 一層の仕上がり厚が規定以下であることが確認できる。 路床、路盤のブルフローリングを行っている。 ≪アスファルト舗装関係≫ 設計図書に基く混合物の配合設計及び試験練が行われており、適宜混合物の規格が確認できる。 (事前審査制度の認定合材を使用し試験練等を省略している場合も本項目に該当するものとする。) 混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時、舗装時等で整理記録されている。 舗装後、直ちに供用する必要がある現場で、交通解放を適切に行っている。 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締固め等)の配慮が行われている。 ≪コンクリート舗装工関係≫ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度、w/c、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度、スランプ、空気量が確認できる。 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。 チェア、ダイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 舗装体と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。				該当	文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				該当	契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e			
	計	0	0	#DIV/0!												
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満…b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。											
	III. 出来ばえ	a		b		c		d		e						
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い										
		評価	評価項目の場合は「1」を入力する。													
			舗装の平坦性が良い。 構造物の通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけが良い。 雨水処理が良い。 全体的な美観が良い。					該当項目が5項目以上…a 該当項目が4項目…b 該当項目が3項目…c 該当項目が2項目以下…d								
	計	0														

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-7【土木工事(法面工事)】

3-7/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<b>Ⅱ. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	品質管理が適切 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	品質管理がやや不備 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質管理が不備 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		対 評 価 評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 < 共 通 > 施工基面が平滑に仕上げられている。 < 種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係 > 土壌試験を実施し、施工に反映している。 ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 吹付け厚さが均等である。 吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 < コンクリート又はモルタル吹付工関係 > 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 金網が所定の位置に設置されている。 吹付け厚さが均等である。 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 跳ね返り材料が適切に処理されている。 法肩の吹付けが、雨水等が浸透しないように地山に沿って巻き込んで施工している。 < 現場打設法枠工関係 > アンカーの施工長さが確認できる。 アンカーの角度が法面に直角に施工されている。 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 枠内に空隙がないことが確認できる。 層間に剥離がないことが確認できる。 跳ね返り材料が適切に処理されている。	該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d	該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e		
		計 0 0 #DIV/0!				
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満…b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		
	<b>Ⅲ. 出来ばえ</b>	a	b	c	d	e
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い	
		評価 評価項目の場合は「1」を入力する。 通りが良い。 植生、吹付等の状態が均一である。 端部処理が良い。 全体的な美観が良い。		該当項目が3項目以上…a 該当項目が2項目…b 該当項目が1項目…c 該当項目なし……………d		
		計 0				

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-8【土木工事(基礎工事)】

3-8/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e		
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備		
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照(地盤改良等を含む)  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				
		該当	<b>品質管理がやや不備</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。				該当	<b>品質管理が不備</b> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。				
		対象	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> ≪ 既成杭関係(コンクリート、鋼管、鋼管井筒関係) ≫ 杭に損傷及び補修がない。 杭に打止め管理方法又は場所打ち杭の施工管理方法が整備され、かつ記録が確認できる。 水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。 溶接の品質管理に関して、仕様書に定められた事項が確認できる。 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 ライナープレート組立にあたって、偏心と歪が少なくなるよう配慮されている。 裏込材注入の圧力等が、施工記録により確認できる。 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				
		計	0	0	#DIV/0!			上記該当・・・e				
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満……………b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c				① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
	<b>III. 出来ばえ</b>  (地盤改良等を含む)	a		b		c		d		e		
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い						
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 土工関係の仕上げが良い。 通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げが良い。 施工管理記録から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。				該当項目が3項目以上……………a 該当項目が2項目……………b 該当項目が1項目……………c 該当項目なし……………d					
		計	0									

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-9【土木工事(コンクリート橋工事)】

3-9/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照(PC及びRCを対象)	品質管理が適切	品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備	
		該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 上記該当・・・c	該当 該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。 上記該当・・・d	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当・・・e	
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	対象 評価 評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 鉄筋の引張り強度、曲げ強度が試験値で確認できる。 コンクリート打設時までの鉄筋の保管管理が適正であると確認できる。 鉄筋の組立、加工が適正であることが確認できる。 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、w/c、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件および気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固めのバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)。 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。 装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。 プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。					
	計	0	0	#DIV/0!			
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満…b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。			
III. 出来ばえ	(PC及びRCを対象)	a	b	c	d	e	
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い		
	評価 評価項目の場合は「1」を入力する。 コンクリート構造物の肌が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 支承部の仕上げが良い。 クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い。			該当項目が6項目以上…a 該当項目が4～5項目…b 該当項目が3項目…c 該当項目が2項目以下…d			
	計	0					

【土木】工事成績探点の考査項目別運用表(検査職員)

--	--	--

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-10【土木工事(塗装工事)】

3-10/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照 (工場塗装を除く)  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	品質管理が適切	品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備
		該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		対象 評価 評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む。) ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理、記録されている。 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料が沈殿していないことが確認できる。 塗膜の有害な付着物がない。 塗装の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。			該当 該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d	該当 該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e
	計	0 0	#DIV/0!			
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a				
		ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b				
		ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c				
		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。				
	<b>III. 出来ばえ</b>  (工場塗装を除く)	a	b	c	d	e
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い	
		評価 評価項目の場合は「1」を入力する。 塗装の均一性が良い。 細部まできめ細やかな施工がなされている。 補修個所がない。 ケレンの施工状況が良好である。 全体的な美観がよい。		該当項目が4項目以上・・・a 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・c 該当項目が1項目以下・・・d		
	計	0				

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-11【土木工事(植栽工事)】

3-11/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e						
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備						
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。			
		対象	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。 活着管理が適切に行われている。 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切に行われている。 樹木等の育成に害のあるものは除去されている。 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥されている。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e			
	計	0	0	#DIV/0!												
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a														
		ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満…b														
		ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c														
		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。														
	<b>III. 出来ばえ</b>	a		b		c		d		e						
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い								
	評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 樹木の活着状況が良い。 支柱の取り付けがきわめて細かく施工されている。 支柱の取り付けが堅固である。 全体的な美観が良い。				該当項目が3項目以上…a 該当項目が2項目…b 該当項目が1項目…c 該当項目なし……………d										
	計	0														

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-12【土木工事(防護柵(網)設置工事)】

3-12/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e										
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照	品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備						
		該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]			該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。			該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。			該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	対象	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 防護柵設置要領等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 床掘りの仕上がり面において、不陸が生じないよう施工していることが確認できる。 支柱の施工にあたり、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力与えていることが確認できる。 ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。						該当	該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。			該当	該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。		
		計	0	0	#DIV/0!	上記該当・・・d		上記該当・・・e								
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a			① 評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。										
			ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b													
			ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c													
	III. 出来ばえ		a		b		c		d		e					
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い							
		評価	評価項目の場合は「1」を入力する。 通りが良い。 端部の処理が良い。 部材表面に傷、錆がない。 既設構造物とのすり付けが良い。 全体的な美観がよい。													
	計	0				該当項目が4項目以上・・・a 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・c 該当項目が1項目以下・・・d										



**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-13【土木工事(標識設置工事)】

3-13/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e				
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備				
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]			該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。			該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。			
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 床掘りの仕上がり面において、不陸が生じないよう施工していることが確認できる。 支柱の施工にあたり、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して施工していることが確認できる。						該当	該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d		該当	該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e
	計	0	0	#DIV/0!										
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a		ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。						ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c		
	III. 出来ばえ	a		b		c		d		e				
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い						
		評価	評価項目の場合は「1」を入力する。 配置位置に配慮がある。 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 標識板、支柱に変色がない。 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 全体的な取り扱いがしやすい。						該当項目が4項目以上・・・a 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・c 該当項目が1項目以下・・・d					
	計	0												

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-14【土木工事(区画線設置工事)】

3-14/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	品質管理が適切	品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備
		該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		対象 評価 評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%程度以下である。 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて施工していることが確認できる。 区画線消去の場合、表示材(塗料)のみが除去され、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 塗装の空缶管理が写真等で確実に空であることが確認できる。			該当 該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d	該当 該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e
	計	0	0	#DIV/0!		
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		
	<b>III. 出来ばえ</b>	a	b	c	d	e
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い	
		評価 評価項目の場合は「1」を入力する。 塗装の塗布が均一である。 視認性が良い。 接着状態が良い。 施工前の清掃が入念に実施されている。 全体的な美観がよい。		該当項目が4項目以上・・・a 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・c 該当項目が1項目以下・・・d		
	計	0				

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-15【土木工事(建築工事)】

3-15/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照	品質管理が適切	品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備												
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	<table border="1"> <tr> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</td> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。</td> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。</td> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。</td> </tr> </table>	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>評価</td> <td colspan="2">評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 機器等(設備等)の機能が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され良好な施工がうかがえる。</td> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d</td> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e</td> </tr> </table>	対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 機器等(設備等)の機能が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され良好な施工がうかがえる。		該当	該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d	該当
該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。											
対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 機器等(設備等)の機能が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され良好な施工がうかがえる。		該当	該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d	該当	該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e											
計	0 0 #DIV/0!	ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。														
III. 出来ばえ		a	b	c	d	e												
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い													
	評価	評価項目の場合は「1」を入力する。 建築物の通り、形状が良い。 仕上げの均一性、平坦性が良い。 機能面での配慮が適切である。 防水の納まりが良好である。 建具の取り付け、作動が良い。 関連工事との取り合いが良い。 全体的な美観が良い。		該当項目が6項目以上・・・a 該当項目が4～5項目・・・b 該当項目が3項目・・・c 該当項目が2項目以下・・・d														
計	0																	

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-16【土木工事(機械設備工事)】

3-16/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e		
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備		
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				
		該当	<b>品質管理が適切</b>				該当	<b>品質管理がほぼ適切</b>				
		対象	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が十分され、内容が確認できる。 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む。)で確認でき、満足している。 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 操作制御関係が所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 設備の統合性が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。				該当	<b>品質管理がやや不備</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。  文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				
		計	0	0	#DIV/0!			上記該当・・・e				
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満……………b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c					① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。				
	<b>III. 出来ばえ</b>		a		b		c		d		e	
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い			
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 仕上がり状態がよく、全体的な美観が優れている。 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており運転操作性が優れている。 異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。 公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。 溶接、塗装、組立等細部にわたる配慮が良い。									
		計	0						該当項目が4項目以上……………a 該当項目が3項目……………b 該当項目が2項目……………c 該当項目が1項目以下……………d			

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-17【土木工事(電気設備工事)】

3-17/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e						
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備						
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。			
		対象	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が十分され、内容が確認できる。 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む。)で確認でき、満足している。 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 操作制御関係が所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 設備の統合性が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e			
		計	0	0	#DIV/0!											
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満…b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c				① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。									
	<b>III. 出来ばえ</b>	a		b		c		d		e						
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い								
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 構造物等にきめ細やかな施工がなされている。 公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。 構造物等へのすり付けが良い。 制作上の補修痕跡がない。 全体的な取り扱いがしやすい。													
		計	0													
							該当項目が4項目以上…a 該当項目が3項目…b 該当項目が2項目…c 該当項目が1項目以下…d									

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-18【土木工事(維持修繕工事)】

3-18/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e						
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備						
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつき判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。			
		対象	<b>評価対象項目で内容が適切な場合は対象欄及び評価欄に「1」を入力し、その理由を記載する。</b> 理由: 理由: 理由: 理由:				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e			
	計	0	0	#DIV/0!												
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c				① 最大考査項目は4項目とする。 ② 評価対象項目が2項目以下の場合c評価とする。										
	<b>III. 出来ばえ</b>	a		b		c		d		e						
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い								
	評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 きめ細やかな施工がなされている。 既設構造物とのすり付け等が良い。 全体的な美観が良い。				該当項目が3項目以上・・・a 該当項目が2項目・・・b 該当項目が1項目・・・c 該当項目なし・・・d										
	計	0														

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-19【土木工事(電気通信工事)】

3-19/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e						
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照	品質管理が適切		品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備					
		該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]		該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。		該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。			
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、下の評価対象項目のみで評定する。	対 象	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 設備の機能が設計図書等との適性が確認でき、その機能の証明書が整備されている。 設備全体としての運転性能(工場及び現地試験結果)がよく、所定の能力を満足している。 完成図書において、整備の機能(性能)が容易に判別できる資料等が整備されている。 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料が整備されている。 単体品(材料、部品組立)の品質及び形状が均一で、設計図書との適性が確認でき、証明書が整備されている。 ただし、JIS及び電気用品取締法施行令によるものは、単体品の証明書を省略できるものとする。				該当	該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。		該当	該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。	
							上記該当・・・d		上記該当・・・e			
			計	0	0	#DIV/0!						
					ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
					ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b							
					ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c							
	III. 出来ばえ	評 価	a	b	c	d	e					
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい			他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い					
計	評 価	評価項目の場合は「1」を入力する。 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。 公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。 構造物等へのすり付けが良い。 制作上の補修痕跡がない。 全体的な取り扱いがしやすい。				該当項目が4項目以上・・・a 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・c 該当項目が1項目以下・・・d						
		0										

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-20【土木工事(ほ場整備工事)】

3-20/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e		
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備		
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照 (整地工及び整地工と一体に整備する場合の管路工、道路開水工並びに暗渠排水工に適用)  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	該当する場合は「1」を入力する。				該当	該当する場合は「1」を入力する。				
			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				
		該当	品質管理が適切				該当	品質管理がやや不備				
			品質管理がほぼ適切					品質管理が不備				
		対象	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。				該当	該当する場合は「1」を入力する。				
			旧水路の埋立てにあたり、排水を行い埋立てている。					文書で改善指示を行った。				
			表土扱いにあたり、雑物等が混入しないよう実施している。					上記該当・・・d				
			表土扱いの厚さについて、仕様書等の規定に従い適切に実施している。					上記該当・・・e				
			良好な排水状態を維持して基盤切盛を実施している。									
			畦畔及び道路盛土等の締固めを適切に実施している。									
			基礎整地にあたり、均平度を保つよう実施していることが確認できる。									
			パイプラインの地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。									
			パイプラインの両側が均等に埋め戻されていることが確認できる。									
			パイプラインが所定の埋設深さに布設されていることが確認できる。									
			コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。									
	暗渠排水の施工にあたり、表土と基盤土の混合を防止していることが確認できる。											
	暗渠排水の被覆材の厚さを確保し、かつ管体を十分被覆している。											
	暗渠排水が所定の深さ及び勾配で布設されていることが確認できる。											
計	0	0	#DIV/0!									
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・・・・a				① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
		ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b										
		ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・・・・c										
3. 出来形及び出来ばえ	<b>III. 出来ばえ</b> (整地工及び整地工と一体に整備する場合の管路工、道路開水工並びに暗渠排水工に適用)	a		b		c		d		e		
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い						
		評価	評価項目の場合は「1」を入力する。									
			表土に雑物等がなく、均平に仕上げている。									
			畦畔を既定の断面に仕上げている。									
			道路等の路面や法面の仕上げが良い。									
			構造物等へのすり付けが良い。									
			構造物の通りが良い。									
			小構造物等にも細心の注意が払われている。									
			全体的な美観が良い。									
計	0											



**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-21【土木工事(管水路工事)】

3-21/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e						
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備						
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。			
		対象	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 中心線の通りが良い。 仕様書等で示す条件により締め込みが実施されている。 管の両側が均等に埋め戻されていることが確認できる。 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 管の吊り込み、据付の際に、常に十分な注意を払っていることが確認できる。 コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e			
		計	0	0	#DIV/0!											
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a													
			ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満……………b													
			ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c													
			① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。													
	<b>III. 出来ばえ</b>	a		b		c		d		e						
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い								
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 管の通りが良い。 管内面塗装に補修痕跡がない。 小構造物等にも細心の注意が払われている。 全体的な美観が良い。													
							該当項目が3項目以上……………a 該当項目が2項目……………b 該当項目が1項目……………c 該当項目なし……………d									
		計	0													



**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-23【土木工事(木製構造物工事)】

3-23/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e						
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備						
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。			
		対象	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 構造物の中詰等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがない。 材料の規格に極端なばらつきがない。 材料に損傷や補修痕がない。 構造物の締め付け固定が確実にされ、適正に施工されている。 施工基面が図面どおり実施されていることが確認できる。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e			
計		0	0	#DIV/0!												
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。												
	<b>III. 出来ばえ</b>	a		b		c		d		e						
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い								
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 地山、既設構造物とのすり付けが良い。 構造物周辺の整地等が適切に施工されている。 通りが良い。 細部まできめ細やかな施工がなされている。 全体的な美観が良い。						該当項目が4項目以上・・・a 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・c 該当項目が1項目以下・・・d							
計		0														

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-24【土木工事(補強土壁工事)】

3-24/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e				
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照	品質管理が適切		品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備			
		該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]		該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	該当	該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。			該当	該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。	該当	該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。
				土質試験を実施し、適切な盛土材を使用している。			上記該当・・・d	上記該当・・・e		
				現地発生材を盛土材とする場合は、表土や草根類が混入していない。						
				締固めを適切な条件で施工している。						
				排水対策が適切に実施されている。						
				壁面から1.5m範囲の巻き出し、敷き均し作業は、人力により行っている。						
			壁面工と補強材の連結が適切に行われている。 補強材を仮置きする場合は水平なところを選び、角材等を敷いたりシートで覆う等の配慮がされている。							
	計	0	0	#DIV/0!						
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・・・・c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
III. 出来ばえ		a	b	c	d	e				
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい			他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い				
	評価	評価項目の場合は「1」を入力する。								
		通りが良い。			該当項目が4項目以上・・・・a 該当項目が3項目・・・・・・b 該当項目が2項目・・・・・・c 該当項目が1項目以下・・・・d					
		天端仕上げが良い。								
		壁面にクラック、錆がない。								
		取付部のすり付けが良い。								
		全体的な美観が良い。								
計	0									

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-25-1【土木工事(下水道工事)】

3-25/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e																																																																																																															
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照	品質管理が適切	品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備																																																																																																															
		<table border="1"> <tr> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。</td> </tr> <tr> <td>該当</td> <td>品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</td> </tr> </table>	該当	該当する場合は「1」を入力する。	該当	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】	<table border="1"> <tr> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。</td> </tr> <tr> <td>該当</td> <td>品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。</td> </tr> </table>	該当	該当する場合は「1」を入力する。	該当	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	<table border="1"> <tr> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。</td> </tr> <tr> <td>該当</td> <td>品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。</td> </tr> </table>	該当	該当する場合は「1」を入力する。	該当	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	<table border="1"> <tr> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。</td> </tr> <tr> <td>該当</td> <td>品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。</td> </tr> </table>	該当	該当する場合は「1」を入力する。	該当	品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																																																																																
該当	該当する場合は「1」を入力する。																																																																																																																				
該当	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】																																																																																																																				
該当	該当する場合は「1」を入力する。																																																																																																																				
該当	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。																																																																																																																				
該当	該当する場合は「1」を入力する。																																																																																																																				
該当	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。																																																																																																																				
該当	該当する場合は「1」を入力する。																																																																																																																				
該当	品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。																																																																																																																				
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>評価</td> <td>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>【共通】</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>材料の品質がミルシート等で確認できる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>仕様書で定められている品質管理が実施されている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>管の運搬にあたっては、管端部にクッション材をはさみ、破損しないよう措置している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>管の接合にあたっては、管の規格にあった方法で接合部を密着させ、水密性が保たれている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>管に目立った屈曲や沈下が無い。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>現場に管を保管するときは、第三者が立ち入らないよう柵を設けるとともに、倒壊等が生じないよう安全対策を講じている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>【開削】</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>接合に際し、差し込み深さが確認できる印を付けている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水圧がかかる箇所においては、所定の水圧試験を実施し、その結果が良好である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>埋め戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>埋設表示テープを布設している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>土留工の施工が適切で、周辺地盤への影響が見られない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>地山土質や湧水状態に応じて適切に切羽の安定確保を実施している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>【推進】</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>管の継ぎ手部に止水を目的として管の目地部をよく清掃し、目地モルタルが剥離しないよう処置した上で目地工を行っている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>裏込材の品質及び充填状況が整備されている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>棄液注入工において、削孔、注入の状況及び効果が管理資料で確認できる。また、観測井も適切に復旧されている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>管推進に伴う周辺地盤への影響が見られない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>立坑の復旧が適切に施工され、路面の沈下、不陸がない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>【マンホール】</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>マンホール天端の仕上がり高さ及び勾配が、道路又は敷地の表面勾配に合致している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>各側塊は、漏水が生じないよう目地仕上げを行っている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>インバートの表面は、接続管の管径、管底に合わせて滑らかに仕上げている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>マンホールにおいて、出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール、止水ゴムが適切に使用されている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>マンホールの足掛け金物の位置、方向が適正であり、鉄板設置においてはガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施設内に土砂、モルタル、材料の断片等がなく、清掃されている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>埋め戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>【復旧】</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>舗装復旧工において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく仕上がり状態が良い。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>縁石、柵、標識等の道路付属物の復旧が適切に行われている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施工による周辺地盤への影響が見られない。</td> </tr> </table>			対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。			【共通】			材料の品質がミルシート等で確認できる。			仕様書で定められている品質管理が実施されている。			管の運搬にあたっては、管端部にクッション材をはさみ、破損しないよう措置している。			管の接合にあたっては、管の規格にあった方法で接合部を密着させ、水密性が保たれている。			管に目立った屈曲や沈下が無い。			現場に管を保管するときは、第三者が立ち入らないよう柵を設けるとともに、倒壊等が生じないよう安全対策を講じている。			【開削】			接合に際し、差し込み深さが確認できる印を付けている。			水圧がかかる箇所においては、所定の水圧試験を実施し、その結果が良好である。			埋め戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。			埋設表示テープを布設している。			土留工の施工が適切で、周辺地盤への影響が見られない。			地山土質や湧水状態に応じて適切に切羽の安定確保を実施している。			【推進】			管の継ぎ手部に止水を目的として管の目地部をよく清掃し、目地モルタルが剥離しないよう処置した上で目地工を行っている。			裏込材の品質及び充填状況が整備されている。			棄液注入工において、削孔、注入の状況及び効果が管理資料で確認できる。また、観測井も適切に復旧されている。			管推進に伴う周辺地盤への影響が見られない。			立坑の復旧が適切に施工され、路面の沈下、不陸がない。			【マンホール】			マンホール天端の仕上がり高さ及び勾配が、道路又は敷地の表面勾配に合致している。			各側塊は、漏水が生じないよう目地仕上げを行っている。			インバートの表面は、接続管の管径、管底に合わせて滑らかに仕上げている。			マンホールにおいて、出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール、止水ゴムが適切に使用されている。			マンホールの足掛け金物の位置、方向が適正であり、鉄板設置においてはガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。			施設内に土砂、モルタル、材料の断片等がなく、清掃されている。			埋め戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。			【復旧】			舗装復旧工において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく仕上がり状態が良い。			縁石、柵、標識等の道路付属物の復旧が適切に行われている。			施工による周辺地盤への影響が見られない。	<table border="1"> <tr> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。</td> </tr> <tr> <td>該当</td> <td>文書で改善指示を行った。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上記該当・・・d</td> </tr> </table>	該当	該当する場合は「1」を入力する。	該当	文書で改善指示を行った。		上記該当・・・d	<table border="1"> <tr> <td>該当</td> <td>該当する場合は「1」を入力する。</td> </tr> <tr> <td>該当</td> <td>契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上記該当・・・e</td> </tr> </table>	該当	該当する場合は「1」を入力する。	該当	契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。		上記該当・・・e
対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。																																																																																																																			
		【共通】																																																																																																																			
		材料の品質がミルシート等で確認できる。																																																																																																																			
		仕様書で定められている品質管理が実施されている。																																																																																																																			
		管の運搬にあたっては、管端部にクッション材をはさみ、破損しないよう措置している。																																																																																																																			
		管の接合にあたっては、管の規格にあった方法で接合部を密着させ、水密性が保たれている。																																																																																																																			
		管に目立った屈曲や沈下が無い。																																																																																																																			
		現場に管を保管するときは、第三者が立ち入らないよう柵を設けるとともに、倒壊等が生じないよう安全対策を講じている。																																																																																																																			
		【開削】																																																																																																																			
		接合に際し、差し込み深さが確認できる印を付けている。																																																																																																																			
		水圧がかかる箇所においては、所定の水圧試験を実施し、その結果が良好である。																																																																																																																			
		埋め戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。																																																																																																																			
		埋設表示テープを布設している。																																																																																																																			
		土留工の施工が適切で、周辺地盤への影響が見られない。																																																																																																																			
		地山土質や湧水状態に応じて適切に切羽の安定確保を実施している。																																																																																																																			
		【推進】																																																																																																																			
		管の継ぎ手部に止水を目的として管の目地部をよく清掃し、目地モルタルが剥離しないよう処置した上で目地工を行っている。																																																																																																																			
		裏込材の品質及び充填状況が整備されている。																																																																																																																			
		棄液注入工において、削孔、注入の状況及び効果が管理資料で確認できる。また、観測井も適切に復旧されている。																																																																																																																			
		管推進に伴う周辺地盤への影響が見られない。																																																																																																																			
		立坑の復旧が適切に施工され、路面の沈下、不陸がない。																																																																																																																			
		【マンホール】																																																																																																																			
		マンホール天端の仕上がり高さ及び勾配が、道路又は敷地の表面勾配に合致している。																																																																																																																			
		各側塊は、漏水が生じないよう目地仕上げを行っている。																																																																																																																			
		インバートの表面は、接続管の管径、管底に合わせて滑らかに仕上げている。																																																																																																																			
		マンホールにおいて、出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール、止水ゴムが適切に使用されている。																																																																																																																			
		マンホールの足掛け金物の位置、方向が適正であり、鉄板設置においてはガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。																																																																																																																			
		施設内に土砂、モルタル、材料の断片等がなく、清掃されている。																																																																																																																			
		埋め戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。																																																																																																																			
		【復旧】																																																																																																																			
		舗装復旧工において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく仕上がり状態が良い。																																																																																																																			
		縁石、柵、標識等の道路付属物の復旧が適切に行われている。																																																																																																																			
		施工による周辺地盤への影響が見られない。																																																																																																																			
該当	該当する場合は「1」を入力する。																																																																																																																				
該当	文書で改善指示を行った。																																																																																																																				
	上記該当・・・d																																																																																																																				
該当	該当する場合は「1」を入力する。																																																																																																																				
該当	契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。																																																																																																																				
	上記該当・・・e																																																																																																																				
	計	0 0	#DIV/0!																																																																																																																		
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。																																																																																																																	

**【土木】工事成績探点の考査項目別運用表(検査職員)**

	ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c	
--	---------------------------	--

別紙4-3-25-2【土木工事(下水道工事)】

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い	
		<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b>				
		評価	管の通りが良い。			
			クラック、漏水がない。			
			制作上の補修痕跡がない。			
		マンホール为天端仕上げが良い。		該当項目が5項目以上……a 該当項目が4項目……b 該当項目が3項目……c 該当項目が2項目以下……d		
	計	0				



**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-27【土木工事(ブロック積み工事)】

3-27/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e													
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備									
		該当	該当する場合は「1」を入力する。			該当	該当する場合は「1」を入力する。			該当	該当する場合は「1」を入力する。								
			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。								
		対象	評価	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。						該当	該当する場合は「1」を入力する。								
				施工基面が平滑に仕上げられている。 裏込め材、胴込めコンクリートの充填又は締め固めが十分で、空隙が生じていない。 ブロックのかみ合わせ又は連結が適切で、裏込め材の吸出しがない。 端部や曲線部の処理が適切である。 地山の湧水処理が適切に行われている。 水抜き孔の個数・勾配等が適切である。 植生の養生が適切である。(緑化ブロックで植生工がある場合) 基礎底面の勾配が規定どおりである。(大型ブロック等で、勾配が規定されている場合)							該当する場合は「1」を入力する。			該当	該当する場合は「1」を入力する。				
											文書で改善指示を行った。				契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。				
										上記該当・・・d			上記該当・・・e						
		計		0	0	#DIV/0!													
				ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a			① 評価対象項目が2項目以下の場合にc評価とする。						ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b			ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c			
													該当項目が4項目以上・・・a			該当項目が3項目・・・b			該当項目が2項目・・・c
					該当項目が1項目以下・・・d														
III. 出来ばえ		a		b		c		d		e									
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい						他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い									
		評価	評価項目の場合は「1」を入力する。																
		通りが良い。 材料のかみ合わせが良い。又はクラックがない。 天端、端部の仕上げが良い。 地山、構造物とのすり付けが良い。 全体的な美観が良い。																	
計		0																	



**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-28【土木工事(旧橋撤去工事)】

3-28/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e		
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備		
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				
		対象	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 撤去に際し、粉塵、汚濁水の処理を適切に行っている。 鋼製高欄、桁材の撤去において、設計図書による処分方法により行っている。 撤去に伴い、発生する殻等の落下を防止する安全対策を講じている。 撤去前の構造物の寸法等を計測し、数量確認を行っている。 振動、騒音の軽減に考慮した工法を採用している。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。  文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				
計		0	0	#DIV/0!								
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上……………a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満……………b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満……………c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。								
	<b>III. 出来ばえ</b>	a		b		c		d		e		
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い				
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> 壊し残しがない。 現場の後片付けが適切にされている。 河川、道路等に落下物が残っていない。 撤去後の現場の安全性に配慮している。(立入禁止等の措置)									
計		0					該当項目が3項目以上……………a 該当項目が2項目……………b 該当項目が1項目……………c 該当項目なし……………d					

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-29【土木工事(公園工事)】

3-29/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e				
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備				
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 品質関係の試験結果が、規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	
		対象	<b>評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。</b> 各仕様書等に定められている品質管理が実施されている 敷地造成を適切な条件で施工している。 活着管理が適切に行われている。 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 材料の品質、形状が均一で、設計書等との適性が確認でき、証明書等が整備されている。 設備の機能がせけ機図書等との適性が確認でき、証明書等が整備されている。 遊具の安全に関する基準を満足している。 路床・路盤工のブルフローリングを行っている。 気象条件に適した混合物の運搬方法、打設作業(締め等)の配慮が行われている。 芝生の現場養生が仕様書に基づき管理されている。 公園施設等の仕上がりは、使用目的・使用者の安全に配慮されている。				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d				該当	<b>該当する場合は「1」を入力する。</b> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e	
		計	0	0	#DIV/0!									
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c		① 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。									
III. 出来ばえ		a		b		c		d		e				
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない		仕上げが悪く、美観が悪い						
		評価	<b>評価項目の場合は「1」を入力する。</b> コンクリート構造物の仕上げが良い。 樹木の活着が良く、支柱の取付、施肥等きめ細かく施工されている。 全体的な美観が良い。 舗装工(芝工含む)の仕上げが良い。 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。											
		計	0											

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-30-1【土木工事(上水道工事)】

3-30/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a		b		c		d		e		
		品質管理が適切		品質管理がほぼ適切		他の事項に該当しない		品質管理がやや不備		品質管理が不備		
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	該当	該当する場合は「1」を入力する。			該当	該当する場合は「1」を入力する。			該当	該当する場合は「1」を入力する。	
			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。				品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
		対象	評価対象項目の場合は対象欄に「1」を入力し、評価対象項目が適切な場合は評価欄に「1」を入力する。			該当	該当する場合は「1」を入力する。			該当	該当する場合は「1」を入力する。	
			【共通】				文書で改善指示を行った。				契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。	
			使用材料は、材料承認願いで承認され、材料検査を合格していることが確認できる。				上記該当・・・d				上記該当・・・e	
			水圧試験の合格が資料により確認できる。									
			連絡する既設管種は資料等により確認できる。									
			継手の施工が適切であることが資料等により確認できる。									
			切管の端部処理が適切であることが資料等により確認できる。									
			使用材料は布設まで保管管理が適切であることが確認できる。									
			弁筐類が、操作に支障なく適切に設置されている。									
			ポリエチレンスリーブ被覆工及び管表示テープを適切に施工している。									
			コンクリート構造物工の品質を満足していることが確認できる。									
			管布設部、宅地部の路面復旧は仕様書通り施工され、既設とのすり付けも良い。									
			仮設管の維持管理が適切になされている。									
			その他(理由: )									
			【開削】									
			山留工、支保工を適切に施工している。									
			掘削面以下を乱さないように施工している。									
			施工基面が平滑に仕上げられている。									
			埋め戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。									
			埋設表示テープを適切に布設している。									
			その他(理由: )									
			【推進】									
			裏込材の品質及び充填状況が整備されている。									
			薬液注入工において、削孔、注入の状況及び効果が管理資料で確認できる。また、観測井も適切に復旧されている。									
			管推進に伴う周辺地盤への影響が見られない。									
			立坑の復旧が適切に施工され、路面の沈下、不陸がない。									
			管路接合部の処理、強度、水密性が適切である。									
			その他(理由: )									
	計	0	0	#DIV/0!								
			ばらつきが少なく、該当項目が80%以上.....a									
			ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満...b									
			ばらつきが少なく、該当項目が60%未満.....c									
							① 評価対象項目が2項目以下の場合c評価とする。					

**【土木】工事成績探点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-30-2【土木工事(上水道工事)】

工事名:

検査員

考査項目	細目	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い		
		評価	評価項目の場合は「1」を入力する。				
			弁篋類の据付高さが適切で、周囲とのなじみがよく違和感がない。				
			弁栓類の設置位置が適切である。				
			竣工図は適切に作成され、見やすく誤差がなく、現地に適合している。				
			施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。				
			舗装復旧等が現地状況を十分把握して施工されており、既設部分との取り合いが良い。				該当項目が7項目以上・・・a
			コンクリート構造物はきめ細やかな施工がされている。				該当項目が5～6項目・・・b
			全体的な美観が良い。				該当項目が4項目・・・c
			関連工事との取り合いが良い。				該当項目が3項目以下・・・d
	計	0					

**【土木】工事成績採点の考査項目別運用表(検査職員)**

別紙4-3-31【土木工事(その他、合併工事)】

3-31/3

工事名:

検査職員

考査項目	細目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<b>II. 品質</b> ※ばらつきの判断は別紙6参照  ※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、右の評価対象項目のみで評定する。	品質管理が適切	品質管理がほぼ適切	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備	品質管理が不備
		該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	該当 該当する場合は「1」を入力する。 文書で改善指示を行った。  上記該当・・・d	該当 該当する場合は「1」を入力する。 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当・・・e
		対象 評価 評価対象項目で内容が適切な場合は対象欄及び評価欄に「1」を入力し、その理由を記載する。 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				
	計	0	0	#DIV/0!		
		ばらつきが少なく、該当項目が80%以上・・・a ばらつきが少なく、該当項目が60%以上80%未満・・・b ばらつきが少なく、該当項目が60%未満・・・c		① 最大考査項目は5項目とする。 ② 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		
	<b>III. 出来ばえ</b>	a	b	c	d	e
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、美観が悪い	
		評価 評価項目の場合は「1」を入力し、その理由を記載する。 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				
	計	0	該当項目が4項目以上・・・a 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・c 該当項目が1項目以下・・・d	① 最大考査項目は5項目とする。		